

愛知県みずから守るプログラム地域協働事業 **大雨行動ほか防災研修**

平成27年6月14日（日）9:00～12:30

参加者:二本木町・三河安城本町・美園町・緑町・二本木新町・三河安城町 各町内会長 町内各組長・班長
協力者:安城市土木課鈴木課長補佐ほか4名、危機管理課1名、レスキューストックヤード(RSY) 松田准教授・林 計149名

1. 勉強会 講師:安城市土木課、関西学院大学松田曜子准教授(RSY)、 町内会

- (1)洪水ハザードマップには何が書いてあるの？
- (2)過去の水害から勉強しましょう。
- (3)まち歩きのポイント
- (4)大雨・地震等の防災対策について
- (5)過去の歴史・町内 特記事項

2. 大雨行動訓練 自宅⇒各町集合場所(公民館)⇒意見集約後解散

周辺の危険箇所・高低差を地図等で確認する

大雨・地震等で自宅から避難場所へ避難する場合の注意事項を確認する。

普段は何気なく歩いている場所でも、土地の高低差・地震による倒壊の恐れのある場所等があるので集約時報告する。ハザードマップを参考にする。

* 耐震の高層マンションに住んでいる方は、災害時、自宅待機が安全である。

- ・倒壊の恐れはないが、エレベーターが使えない。火災の発生に備えた対応が重要である。
- ・食物・飲料等の確保は指定場所にての支給となる。

3. 反省会 特記事項

- ・ハザードマップの修正点は適宜追加修正していく。
- ・大きな工場・幼稚園等の非常時 避難場所としての協力を町内会としてお願いしていく。
- ・避難場所の表示が正式名称と通称(梨の里公民館・本町公民館)で分かりづらかった。
- ・液状化の実態が分からない。⇒安城市として下水管マンホール浮上対策も進められている。旧河川のあった場所は要注意。
- ・自分の近くを再確認できてよかった。



自主防災会長挨拶



レスキューストックヤード 松田准教授 説明



研修風景